



あ建 第 4 4 2 9 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長

あわら市長 橋 本 達



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で照会のあったみだしの
ことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福井県 あわら市

●あわら市における道路整備状況は、いまだ不十分であり地域相互の交流に支障を来しており、道路サービス水準は極めて低い状況であります。この状況下では、都市圏との地域格差に拍車がかかるばかりでなく、都市部への人口流出など地方自治体として深刻な事態となっております。若い人が夢を持てる安全で安心なまちづくりをするためにも、道路整備が遅れている地方に重点配分されるよう要望いたします。

●増大する維持管理・補修費等への対応

あわら市合併後の市道の総実延長は約320kmで、市道の総本数は980本あり橋梁は119本を抱えている。特に橋梁については、高度成長期に架け替えした橋が多く、橋梁健全度調査結果でも老朽橋と更新時期を向かえた橋が相当数あり、さらには老朽化した道路施設(舗装・側溝)等、道路の維持管理費がますます増大し、将来的に市の財政を圧迫することが予想される。このことから、道路の補修について国の補助金を強く要望する。

●合併支援道路の整備

合併後の新市が一体となるために旧町間を結ぶ都市計画道路金津三国線の合併支援道路の継続整備を始め、合併に伴い新たに生まれた地域間交流や拠点の連携強化さらに新幹線開設に伴う経済活動の変化に対応した安全で快適な交通ネットワークを構築することが、まちづくりの道路行政を進めるうえで非常に重要である。

●国道8号福井バイパス(第一工区)の工事着手と石川県境までの事業化

国道8号のあわら市区間については、金津インターの接続と相まって年々増加しているとともに、特に冬期間の道路急勾配による交通渋滞と沿線住民の事故も多く発生している。

このため、用地買収済区間の一日も早い工事着手と併せて、笹岡地係から石川県境までの事業未認可区間についての事業化を強く要望する。

●道路の設計基準を定めた道路構造令について、一部地域の実情と合わない道路整備となっている規制緩和や例外規定もあるが地方にとって理解しにくく十分活用されないのが実情である。こうしたなか、地域の実情に即した弾力的な道路構造令になるよう検討して欲しい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

福井県 あわら市

○ 現 状

●道路の管理延長が長く、未改良区間や日常生活、救急活動にも支障を及ぼすような道路が数多い状況となっており、限られた予算等執行体制が整わない状況下で、なかなか整備が進まないのが現状である。

●国道8号福井バイパス(第一工区)の事業について、金津インターの接続と相まって年々交通量が増加しているとともに、特に冬期間の道路急勾配による交通渋滞と沿線住民の事故も多く発生している。

○ 課 題

●橋梁を始め老朽化する道路施設への対応が、本市にとっても今後大きな課題となるのが必然であり、大きな懸念を抱いている。

●用地買収済区間の一日も早い工事着手と併せて、笹岡地係から石川県境までの事業未認可区間についての早期事業化

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

福井県 あわら市

●地方にとって道路が暮らしのベースとなっており、基幹道路から生活密着の市道までネットワークが網羅され、観光や物流、医療等の交通サービスの確保や安心して安全な道路環境の整備を、住民より常に求められています。

また、近年規模の大きい自然災害が発生し、災害は住民にとっても常に身近な問題であり、行政にとっても危機管理体制が問われています。

そのようなことから、緊急輸送道路の確立や互いに補給しあう道路ネットワーク整備及び橋梁補強等、災害や重大事故に備える道路政策に取り組む必要があると考える。